

速攻！現場で役立つシリーズ

# CLC連続講座 第一弾

## 小規模多機能

介護保険改革で制度化される小規模多機能ホーム。  
その取り組みの具体的実践と考え方を紹介します。

## 地域でねばる

この家、この土地でねばって暮らし続けたい。  
その思いを支援する先進事例を紹介します。

## バリエーション

認知症の人の行動には、すべて意味がある！  
認知症の人とのコミュニケーションテクニックを紹介します。

## 変革期の実践大集合！

## 認知症

「呆けても心は生きている」  
その人のライフスタイルを支えつづけるケアのあり方を考えます。

## サテライトケア

施設の機能を地域に出前することで、在宅での暮らしを可能に！  
サテライトケアの魅力と実践をたっぷり紹介します。

## ユニットケアのケアプラン

ユニットケア施設における「ケアプラン」の考え方、立て方のコツを、  
実践に即して提案します。

2005.05～07 順次開催！！

# CLC 連続講座第一弾開催講座一覧 & 申込書

	開催期日	内 容 ・ 講 師	開催場所	参加費	申込欄
1	5月21日(土) 10:30～16:30	高橋誠一と語る「認知症ケア～地域で支える実践～」 東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋.. 誠一氏 せんだんの杜 地域サービス課長 小野寺道子氏 特養・アザレアンさなだ 施設長 宮島... 渡 氏	自動車会館 (千代田区)	8,000円	希望講座に
2	5月22日(日) 10:30～16:30	高橋誠一と語る「地域サテライトケア」 東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋.. 誠一氏 蒲生の家 施設長 瀬川.. 雅和氏 グループハウス尼崎 主任 松尾.. 利恵氏	新梅田研修 センター (大阪市福島区)	8,000円	
3	6月4日(土) 10:30～16:30	泉田照雄と語る「ユニットケアのケアプラン」 季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉田.. 照雄氏 特養・さくら園 生活相談員 金谷龍太郎氏	日本教育会館 (千代田区)	8,000円 テキスト 2,730円	
4	6月5日(日) 10:30～16:30	泉田照雄と語る「ユニットケアのケアプラン」 季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉田.. 照雄氏 特養・万葉苑 次長 松尾.. 智志氏	新梅田研修 センター (大阪市福島区)	8,000円 テキスト 2,730円	
5	6月27日(月) 10:00～16:30	宮島渡が語る「地域でねばる実践」(AM/10:00～12:30) + (アザレアンさなだ 施設長 宮島 渡氏)	自動車会館 (千代田区)	一日8,000円 AMのみ、PM	一日 AM PM
6	6月28日(火) 10:00～16:30	武田和典が語る「ユニットケア」(PM/13:30～16:30) (特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏)	兵庫県私学会館 (神戸市中央区)	のみの場合は 5,000円	一日 AM PM
7	7月9日(土) 13:00～16:00	篠崎人理が語る「バリデーション」 ～認知症の人との超コミュニケーション法～	自動車会館 (千代田区)	5,000円	
8	7月10日(日) 13:00～16:00	日本バリデーション研究会 代表 篠崎.. 人理氏 (きのこ老人保健施設 施設長)	大阪 YMCA 国際 文化センター(西区)	5,000円	
9	7月23日(土) 13:00～16:00	佐々木健が語る「認知症の理解とケア」 きのこエスポアール病院 院長 佐々木 健氏	大阪 YMCA 国際 文化センター(西区)	5,000円	
10	7月24日(日) 10:30～16:30	藤井博志と語る「福祉のまちづくりとコミュニティワーク」 神戸学院大学 助教授 藤井 博志氏 NPO 法人秋桜舎 理事長 渡辺ひろみ氏 豊中市社会福祉協議会 地域福祉係長 勝部 麗子氏	損保会館 (千代田区)	8,000円	
5 6については、一日、AMのみ、PMのみのいずれかに をつけてください。			合 計	円	

1 各講座の詳細については、下記までお問い合わせください。

2 お申込の際は、下記に住所・氏名等の必要事項、希望される講座申込欄に を付け、参加費の合計金額をご記入のうえ、FAX、または郵送にてお申し込みください。(申込受付後、確認書をお送りします)。

主催・問い合わせ先

全国コミュニティライフサポートセンター (CLC)

〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 5-3-18-207

TEL022(719)9240 FAX022(719)9251 E-Mail: clc@clc-japan.com URL: http://www.clc-japan.com

**特典!!**

3 つ以上の講座にお申し込みの場合は、「宅老所・グループホーム白書 2005」「逆デイ白書」「ユニットケア白書」のうち、希望する一冊を進呈。

氏 名		所 属	
住 所	〒 -	e-mail	
電 話		FAX	

複数人数でお申込の場合は、本紙をコピーしてお使いください。

FAX : 0 2 2 - 7 1 9 - 9 2 5 1

1 5月21日(土) 10:30～16:30 / 自動車会館(東京都千代田区)

## 高橋誠一と語る「認知症ケア～地域で支える実践～」

東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋.. 誠一氏  
せんだんの杜 地域サービス課長 小野寺道子氏  
特養・アザレアンさなだ 施設長 宮島... 渡 氏

### 【趣旨】

高齢者介護において、「認知症(痴呆症)」への対応は、家族や介護者、地域にとって、大きな課題となっています。認知症となっても地域で暮らし続けるためには、また、地域での暮らしを支え続けるためには、どのような支援が必要なのでしょうか。

午前中は、仙台市にある「せんだんの杜」地域サービス課長の小野寺道子さんから、人口約 1 万人の中山小学校区で総合的に支える「総合相談支援センター・もうもう亭」や「小規模多機能ホーム・中山の家」など、「せんだんの杜なかやま」の取り組みを伺い、一人ひとりを地域で支え続けることの意義を探ります。

また、午後からは同じく人口 1 万 2 千人の真田町でサテライトケアに取り組むアザレアンさなだ施設長の宮島渡さんから、地域住民の意識改革なども含めたお話を伺い、地域合体で認知症のお年寄りの暮らしを支える仕組みづくりについて考えます。

### 【プログラム】

10:40～11:10 認知症を地域で支える実践～せんだんの杜なかやまの取り組み～(小野寺道子氏)

11:10～12:30 せんだんの杜なかやまの取り組みの意味するもの(小野寺道子氏 + 高橋誠一氏)

13:30～14:30 地域で支える仕組みづくり～アザレアンさなだの取り組み～(宮島渡氏)

14:50～16:30 ディスカッション「認知症を地域で支えるということ」(小野寺道子氏 + 宮島渡氏 + 高橋誠一氏)

2 5月22日(日)10:30～16:30 / 新梅田研修センター(大阪市福島区)

## 高橋誠一と語る「地域サテライトケア」

東北福祉大学総合福祉学部 教授 高橋.. 誠一氏  
蒲生の家 施設長 瀬川.. 雅和氏  
グループハウス尼崎 主任 松尾.. 利恵氏

「地域でその人らしく暮らす」ための支援として、大規模施設では地域サテライトケアの取り組みが広がりをを見せています。地域サテライトケアは、地域の中に小規模拠点を作り、施設から地域に出て過ごす場所としたり、地域で住み続ける支援を通じて、地域での暮らしを取り戻したり、維持していく取り組みです。

本講座では、民家改修型のサテライト「蒲生の家」の施設長である瀬川雅和さんと、グループハウス尼崎の主任である松尾利恵さんにおいでいただきます。

瀬川さんからは、大規模施設でユニットケアに取り組む中から「蒲生の家」にたどり着いた経緯や、その中で見えてきた課題と可能性について、また、松尾さんからは神戸の震災の中から誕生したグループハウスの、一人ひとりの入居者の暮らしと、それを支えてきたスタッフの役割についてそれぞれお話いただき、地域での暮らしを支えることの意義と課題、そして展望を考え合います。

### 【プログラム】

10:40～11:20 地域サテライトケアの実践(瀬川雅和氏)

11:20～12:00 暮らしを支えることの意味と役割(松尾利恵氏)

13:00～13:30 制度に見る地域サテライトケア(高橋誠一氏)

13:30～15:00 ディスカッション 「地域で暮らし続けることを支援するということ」(瀬川雅和氏 + 松尾利恵氏 + 高橋誠一氏)

15:20～16:30 ディスカッション ・Q&A「地域サテライトケアの課題と展望」(瀬川雅和氏 + 松尾利恵氏 + 高橋誠一氏)

3 6月4日(土) / 【東京会場】日本教育会館(千代田区)

4 6月5日(日) / 【大阪会場】新梅田研修センター(大阪市福島区)

## 泉田照雄と語る「ユニットケアのケアプラン」

季刊・痴呆性老人研究 編集長 泉田.. 照雄氏  
(東京会場)特養・さくら園 生活相談員 金谷龍太郎氏  
(大阪会場)特養・万葉苑 次長 松尾.. 智志氏

### 【趣旨】

ユニットケアに取り組んではみたけれど、うまくいかない。形はなんとかできたけれど、ケアがおぼつかない。どう工夫したらお年寄りに寄り添えるのかわからない。

この講座では、ユニットケアに取り組む施設が抱える課題をケアプランの面から考えます。

身体介護を中心としたこれまでのケアプランでは、ユニットケアが目指す、一人ひとりの暮らしの支援は見えてきません。利用者一人ひとりが望む暮らし方をみんなが考えあうことで、施設での暮らしはもっともっと変わっていきます！

「ユニットケア・ケアプラン研究会」が21の先進施設とともに作成したケアプランを紹介するとともに、ユニットケアにおけるケアプランの考え方やその評価、また、スタッフの育成に向けた活用法までお伝えします!!

### 【プログラム】

10:40～12:00 ユニットケアにおけるケアプランの意義と役割..(泉田照雄+金谷龍太郎/松尾智志)

13:00～14:30 ユニットケアにおけるケアプランの実際と評価(泉田照雄+金谷龍太郎/松尾智志)

15:50～16:30 ディスカッション・Q&A「よりよいケアプランの作成と実践のために」

(泉田照雄+金谷龍太郎/松尾智志)

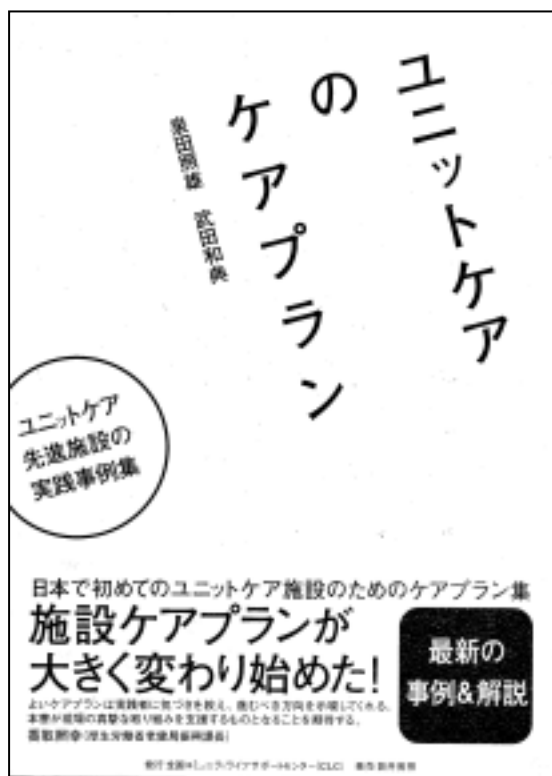
プログラムは多少変更となる場合がございます。ご了承ください。

テキスト

「ユニットケアのケアプラン」を学ぶためのテキスト

## 「ユニットケアのケアプラン」

著者:泉田照雄 武田和典 / 定価 2,730 円



本書の一部

全国の21の先進施設とともに  
考えたケアプランシートが掲載

### 【主な内容】

第1章 ユニットケアの基本 ラーフサポート

第2章 ユニットケアのケアプランの考え方編

第3章 ユニットケアのケアプラン プランシート編

5 6月27日(月)10:00～16:30 / 【東京会場】自動車会館(千代田区)

6 6月28日(火)10:00～16:30 / 【大阪会場】兵庫県私学会館(神戸市中央区)

## 宮島渡が語る「地域でねばる実践」(AM / 10:00～12:30)

アザレアンさなだ 施設長 宮島 渡氏

### 【趣旨】

人口1万2千人の長野県真田町で、サテライトデイ、逆デイ、グループリビング、民家改造グループホーム、ユニットケア、地域サテライトケア、地域交流施設…さまざまな先駆的取り組みをしてきたアザレアンさなだ。そこで積み重ねられた実践は、施設で暮らすための支援ではなく、住民の目線で「地域で暮らし続ける＝ねばる」ためのものでした。この在宅での暮らしを支えるために取り組まれた実践の趣旨は、厚生労働省老健局長の私的研究会である高齢者介護研究会でも報告され、「新しい介護サービス体系」や「新しいケアモデル」の必要性を提案するにいたりました。

本講座では、地域でねばるを支えるアザレアンさなだの実践に焦点をあて、「誰もが住みなれた地域でねばる」ことができる地域づくりを目的に開講します。

## 武田和典が語る「ユニットケア」(PM / 13:30～16:30)

特養・老健・医療施設ユニットケア研究会 代表 武田 和典氏

### 【趣旨】

ユニットケアは、施設を小さくすることが目的なのではなく、施設をどう考えるか、自分が利用する立場で、どうしていったらよいのかという具体的な問いかけなのです。小さく仕切って運営するというのは、その中のひとつの手段でしかありません。

ここでは、ケアを変えるだけでなく、生活を変え、施設を変え、地域を変えていく、利用者を中心とした見直しへの入り口として「ユニットケア」ととらえ、自分たちのやっていることの見直しきっかけを作りたいと思います。さらに、ユニットケアを通して、施設から地域に出て行くことで介護を捉えなおすとともに、ユニットケアが高齢者福祉にとどまらず子どもや障害の分野へと広がっている実践も踏まえ、ユニットケアとは何かを考えます。

## アザレアンさなだの全容がわかる！

### 地域でねばる

著者：宮島渡 / 定価 1,890 円



「自分たちの入りたい特養を作りたい」との思いで『アザレアンさなだ』は10年前に始まる。「逆デイ」「ケア付きコミュニティ」など、いままでの「特養」のあり方にとらわれることなく、新しい実践が次々と生み出された。その根幹となったのは、高齢者がいつまでも地域に住み続けることができるために、どうしたらよいのかという視点に立ち続けること。その発想の原点、さまざまな試みの軌跡と現場を担うリーダーたちの思い、そしてこの10年の高齢者福祉の展開と将来への展望がこの一冊にぎゅっと詰まっています。

これからの時代の高齢者福祉の具体的かたちがある！

### 【主な内容】

- 第1章 十年の歩み
- 第2章 現場リーダーが語るアザレアンさなだのケア
- 第3章 アザレアンさなだと高齢者福祉を取り巻く展開
- 第4章 福祉の今とこれからを語る仲間たち

7 7月09日(土)13:00～16:00 / 自動車会館(東京都千代田区)

8 7月10日(日)13:00～16:00 / 大阪 YMCA 国際文化センター(大阪市西区)

## 篠崎人理が語る「バリデーション」 ～認知症の人との超コミュニケーション法～

日本バリデーション研究会 代表 篠崎.. 人理氏  
(きのこ老人保健施設 施設長)

### 【趣旨】

「バリデーション」は 2001 年9月に初めて日本語訳で紹介されて以来、大きな反響と共感を持って受け入れられてきました。特に認知症のお年寄りとかかわる家族や介護スタッフからは、より強い支持を受けています。訳者としてもこれは大変喜ばしいことです。なぜこのような支持を受けることになったのでしょうか？

バリデーションでは、これまでの知識系教育では得ることのできない「感動や喜び、悲しみ」といったものを、「出会い」や「体験」を通して、新世紀とともに人々の心の大きな変化が起き、バリデーションは初めて受け入れられ、広まりました。

認知症のお年寄りとかかわりの中で、「体験系」教育を経験し、認知症の人の人生経験を通じて、「心の豊かさ」を学ぶ方法論として、バリデーションは今再評価されているのではないのでしょうか。

みなさんも、「自分自身の心の豊かさ」を得る方法にチャレンジしてみませんか。

### 【プログラム】

13:00～14:00 バリデーションへの誘い～なぜ、バリデーションが注目を集めるのか～

14:00～16:30 バリデーションとは何か～心の豊かさを得るためのバリデーション～

ユニットケア・グループホーム・  
施設・在宅・家族介護の  
ケアバイブル!!

## 痴呆症の人との超コミュニケーション法 バリデーション

著者: Naomi Feil 訳者: 篠崎人理・高橋誠一 監修: 藤沢嘉勝 / 定価 2,625 円

長年高齢者ケアに関わってきたナオミ・フェイルの試行錯誤の中から生まれたバリデーション。ケアする人にも大きな変化をもたらす革命的なコミュニケーション法。

バリデーションが日本のケアを変える！

### 目次

出会い

バリデーションセラピーへの誘い

序章 フローレンストルー

第1部 アルツハイマー型痴呆とバリデーションの使い方

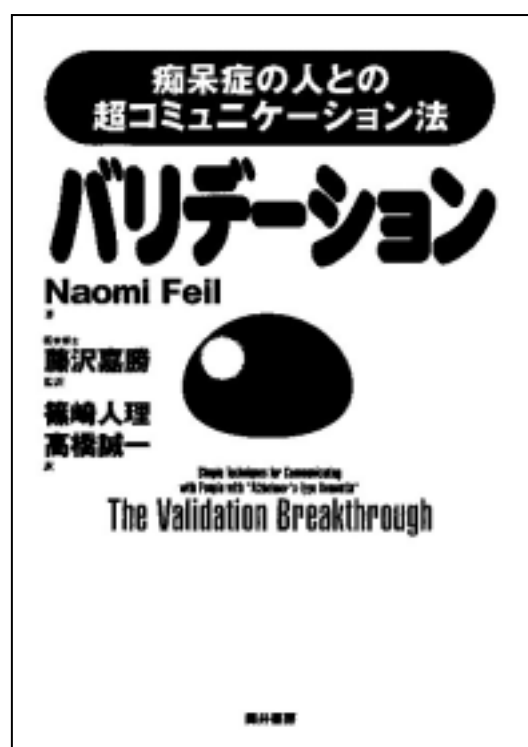
第2部 バリデーションの実践事例

第3部 グループバリデーション

よくある質問

付録

世界のバリデーション協会の正式なリスト など





## 佐々木健が語る「認知症の理解とケア」

きのこエスポアール病院 院長 佐々木 健氏

### 【趣旨】

認知症高齢者にとって、医療や介護は「その人らしさ」を尊重したかわりができているのでしょうか。認知症とひとくくりにする前に、認知症を正しく理解し、認知症と類似した状態と認知症との違いを理解することが大切です。

これまでの認知症ケア(オールドカルチャー)では、認知障害が直接問題行動を引き起こすと考え、分析し、対処・対応することを念頭に、抑制や拘束、流れ作業的なケアを行ってきた。これに対し、ニューカルチャーといわれる認知症に対する新しい見解は、中核症状としての記銘力障害や失見当識・失計算・失語・失行・失認の部分に注目するだけでなく、本人の健康状態や環境、個性や人生歴、人の心理や社会心理に注目し、その人個人の行為・様子に目を向け、認知症高齢者の行動を分析ではなく、解釈によって理解する、いわば「寄り添い、関わる、人間中心のケア」であるといえる。

このたびの講演では、改めて、認知症を正しく理解し、ユニットケアや小規模多機能ホームで活動できる基礎的知識と、新しいケアのあり方について考えることを目的に開催します。

### 【プログラム】

13:00～14:00 認知症の正しい理解～医療的視点から～

14:00～16:30 認知症高齢者へのケア～介護の視点から～

## 藤井博志と語る「福祉のまちづくりとコミュニティワーク」

神戸学院大学総合リハビリテーション学部 助教授 藤井 博志氏

NPO 法人秋桜舎 理事長 渡辺ひろみ氏

豊中市社会福祉協議会 地域福祉係長 勝部 麗子氏

### 【趣旨】

地域とのつながりや人とのつながりなど継続した生活の重要性が認められ、2006年の介護保険制度改定では、「地域密着型サービス」が新たに位置づけられます。

近年は、「近所づきあいが希薄になっている」という声も多く聞かれますが、その一方で、受け身の地域生活ではなく、住みやすい地域を地域住民が主体となって、さまざまなコミュニティワークの実践が全国各地で活発に行われています。

今回は、介護サービスや配食サービスを実施する地域拠点「コスモスの家」の運営や、地域福祉計画づくりを実施しているNPO法人秋桜舎理事長の渡辺ひろみさんと、専門的な立場から住民主体の地域福祉活動を支援している豊中市社会福祉協議会の勝部麗子さんにコミュニティワークの展開方法についてお話を伺います。

### 【プログラム】

10:30～11:00 福祉のまちづくりを進めるコミュニティワーク(藤井博志氏)

11:00～12:00 住民発のまちづくり～秋桜舎の取り組み～(渡辺ひろみ氏)

13:00～14:00 豊中市社会福祉協議会の取り組み(勝部麗子氏)

14:15～16:00 ディスカッション(藤井博志氏+渡辺ひろみ氏+勝部麗子氏)

16:00～16:30 質疑応答

## CLC 連続講座開講にあたって

高齢者介護を取り巻く環境は日々変化し、医療や介護の現場においても新しいケアやシステムが次々と生まれています。97年に制度化されたグループホームは「痴呆介護の切り札」と言われ、2002年に制度化された「小規模生活単位型」（一般的には「ユニットケア」）は、「痴呆介護のケア革命」と言われました。2006年の介護保険制度改正では、「宅老所」の発展系とも呼べる「小規模多機能ホーム」が、「地域密着型サービス」のひとつとして「小規模多機能型居宅介護（仮称）」が位置づけられます。しかしながら、システムはできあがっても、その中身はどうでしょうか。利用者の思いに寄り添い、地域での暮らしを守るケアやかかわりができているでしょうか。

このたびのCLC連続講座では、「地域サテライトケア」「ユニットケア」「バリデーション」「小規模多機能ホーム」など、さまざまな現場発の試みを豪華に紹介します。これまでの大規模型のセミナーでは味わうことのできない「参加型」セミナーとして、実践から生み出された新しいケアを皆様とともに考え、発信していきたいと考えています。

## CLC オススメの本

セミナー当日のみのセット販売価格です。当日会場にてお買い求めください。

### 「小規模多機能ホームがわかる書籍セット（3,500円）」



1,470円



1,200円



1,890円

3冊合計4,560円  
のところ



3,500円

### 「地域福祉」がわかる書籍セット（2,500円）」



1,000円



1,200円



800円

3冊合計3,000円  
のところ



2,500円